

2026年2月18日

ダイキンオーキッドレディス大会事務局

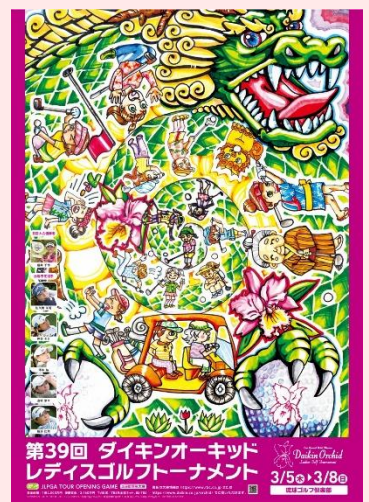
2026年JLPGA ツアー開幕戦
『第39回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』
～出場選手決定のお知らせ～

JLPGA ツアー2026 シーズン開幕戦『第39回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント（賞金総額1億2,000万円[優勝賞金2,160万円]』（主催：ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社、以下ダイキンオーキッド）の出場選手が決定しましたのでお知らせします。

今大会には、大会3連覇を狙う前回覇者の**岩井千怜**、米女子ツアールーキーイヤーながら初優勝を果たした**岩井明愛**の岩井姉妹、2025年シーズン悲願の初優勝を皮切りに4勝を挙げ、メルセデス・ランキング1位に輝いた**佐久間朱莉**が出場します。また、シーズン2勝を挙げ終盤まで年間女王争いを演じた**神谷そら**、自身初の年間複数回優勝を挙げた**河本結**、昨年大会で3日間首位を走るも惜しくも2位タイとなりリベンジに燃える**菅楓華**など昨シーズンを盛り上げたメルセデス・ランキング上位選手がエントリー。さらに、歴代優勝者で故障明けの復帰戦となる**小祝さくら**、昨年のツアー最終戦を制し年をまたいでの連勝がかかる**鈴木愛**などの実力者が出場します。

地元沖縄県勢では、プロ12年目にして初のシード権を獲得した**山城奈々**や2019年大会覇者の**比嘉真美子**が出場します。さらに、**大城さつき**や昨年のJLPGAプロテストに合格しデビュー戦となる**吉崎マーナ**、琉球放送とスポンサー契約を結ぶ**荒川怜郁**、ダイキン所属の**新垣比菜**のほかダイキンオーキッドアマチュア選手権で出場権を獲得した4名を加え、10名が出場します。

ダイキンオーキッドは、沖縄から全国に春の訪れとゴルフシーズンの幕開けを告げる大会として親しまれ、今回で39回を迎えます。3月5日（木）から3月8日（日）までの4日間、沖縄県南城市の琉球ゴルフ倶楽部にて開催します。



【いちゃりばちよーでー、
みんな巻き込むゴルフの輪！】
新城 梨心（しんじょうりこ）さん

2026年最初の栄冠をめぐり、総勢108名の選手によって繰り広げられる、華やかで熱き4日間の戦いにご注目下さい。

◆オフの成果が試され、年間レースの行方を左右する開幕戦

2025年シーズンは36大会が開催されたJLPGAツアー。優勝者は過去最多の30名、過去最多の12名が初優勝を記録するなど選手層の厚さが増し、ツアー全体の競争力はさらなる高まりを見せています。シーズンの行方を占う“最初の一打”に注目が集まります。



佐久間朱莉

2025シーズン、メルセデス・ランキング1位で年間最優秀選手に輝いた**佐久間朱莉**は、上位進出を果たすもJLPGAツアー未勝利が続いた過去のシーズンのうっぴんを晴らすかのように初優勝を含む年間4勝を挙げ、年間獲得賞金1位（2億2,728万5,959円）、平均ストローク1位（70.0585ストローク）、そのほかにも特別賞を受賞するなど4冠に輝き、2025年の顔となる活躍を見せました。奪ったバーディー数は462と全出場選手の中でトップ、シーズン全36試合に出場し19度のトップ10と抜群の安定感を誇ったその強さは今年どこまで進化していくのか。研鑽を重ねたオフを経て、2年連続最優秀選手をめざす新たなシーズンの幕が開きます。



岩井千怜

昨シーズンアメリカに主戦場を移し1年目ながらも初優勝を挙げ、米女子ツアー史上初の双子での優勝を成し遂げるなど鮮烈なデビューイヤーとなった岩井姉妹。ディフェンディングチャンピオンの**岩井千怜**は昨年、今大会連覇を達成、シーズンを通して好調を維持し、5月の「リビエラマヤオープン」で後続に6打差を付ける圧勝劇でツアー初優勝を飾ると、翌月の海外メジャー「KPMG全米女子プロ選手権」で4位タイに入るなど大舞台での適応力の高さを見せました。さらなる高みをめざし、ツアー制度施行後（1988年以降）では日本人選手初の快挙となる同一大会3連覇へ挑みます。



岩井明愛

岩井姉妹の姉・**岩井明愛**は、米女子ツアー2戦目の「ホンダLPGAタイランド」最終日に自身の持つ大会コースレコードを更新する61ストロークを記録。1打及ばず優勝を逃しましたが、世界の舞台で勝負できるポテンシャルを早々に発揮すると、8月の「スタンダード・ポートランドクラシック」で念願のツアー初優勝を飾りました。海外に舞台を移しても変わらない攻めの姿勢と勝利への執念を武器に大会初となる姉妹での大会制覇をねらいます。

◆群雄割拠の JLPGA ツアー、勢いのある若手の活躍に注目

実力者が揃う中で、若手の台頭も顕著に進み、世代を超えた争いは激しさを増しています。新たな主役が現れるのか、それとも経験豊富な選手が存在感を示すのか。主役争いに名乗りでるべく、沖縄を舞台に動き出します。



菅楓華



荒木優奈

2005 年度生まれでは宮崎・日章学園高出身の同学年 2 人に注目が集まります。昨年の大会で初日から首位を走り 2 位タイに入ると、2 戦目以降も好調を維持し、9 月に念願の初優勝を飾るとメルセデス・ランキング 4 位でシーズンを終えた**菅楓華**、ルーキー選手として初めて（プロテスト開催時期変更後）年間獲得賞金が 1 億円を超え、同ランク 7 位となるなど成長著しい**荒木優奈**。さらに、最大のアピールポイントとなる飛距離を武器に、昨年のルーキー（97 期生）の中で一番乗りにはツアー初優勝を飾った**入谷響**などが虎視眈々と開幕戦制覇をねらいます。



神谷そら



都玲華

競争力を押し上げる軸となり存在感が増す 2003 年度生まれの“ダイヤモンド世代”からは、ドライビングディスタンス 1 位の飛距離を武器に昨シーズン 2 勝を挙げツアー終盤まで年間女王争いを演じた**神谷そら**、ルーキーイヤーながらシード権をつかみ取り、国内メジャーでトップ 10 に入るなど大舞台でも存在感を発揮した**都玲華**や昨年のステップ・アップ・ツアーで年間 3 勝を挙げ明治安田ステップ・ランキング 1 位に輝き、今シーズン前半戦出場権を獲得した**大久保柚季**などが世代の急成長株として初の開幕戦に挑みます。



河本結



小祝さくら

近年の JLPGA ツアーを牽引する 1998 年度生まれの“黄金世代”からは、若手選手が台頭する中で、自身初の JLPGA ツアー年間複数回優勝を挙げ、ファンサービスなどでもツアーを盛り上げて話題となった**河本結**をはじめ、2021 年の大会覇者で昨シーズンまで 7 年（6 季）連続となる勝利を積み重ねてきた**小祝さくら**が手首痛からの復帰初戦に臨みます。ほかにもメルセデス・ランキング 5 位の**高橋彩華**、**天本ハルカ**、**大里桃子**といった実力者が 2026 年を占う初戦に臨みます。

◆7 大会ぶりの優勝に期待したい沖縄県勢選手

地元沖縄県勢では、JLPGA ツアー初優勝まであと一步に迫る活躍を見せ、プロ入り後初シードを獲得した山城奈々や 2019 年大会覇者の比嘉真美子が出場します。さらに、大城さつきに加え 4 年連続でアマチュアとして出場し 2 度のベストアマチュアに輝き、昨年の JLPGA プロテスト合格を果たした吉崎マーナがプロとしてのツアーデビュー戦を飾ります。また、琉球放送株式会社とスポンサー契約を結んでいる荒川怜郁、ダイキン所属の新垣比菜といった活躍が期待される選手が揃って出場します。地元からの力強い声援を力に、7 年ぶりとなる沖縄県勢の優勝をめざし、静かに闘志を燃やします。



新垣比菜

新垣比菜は、2019年大会で2位、2021年大会は10位タイに入る活躍を見せています。昨シーズンはベストフィニッシュが35位タイと苦戦を強いられましたが、今年は再び上位を争う姿とシード奪還が期待されます。かつて5年連続（2013～2017年）でベストアマチュアに輝くなど好相性の舞台上、JLPGAツアー通算3勝目をめざします。



吉崎マーナ

吉崎マーナは、中学2年時にアマチュア予選会を通過し、初出場して以来、そこから4年連続で出場。直近2年間はベストアマチュアに輝く活躍を見せました。地元の期待を背負いながらも、開幕戦特有の雰囲気の中で2年連続予選を突破している点は、彼女のメンタルの強さと完成度の高いショット力を示します。アマチュア時代に積み重ねた経験と、地元コースを知り尽くした強みを武器に、どこまでリーダーボードを駆け上がるのか。沖縄の海風を味方につけ、プロとしての新たな物語をこの開幕戦で刻みます。

また、今年の1月26日、27日に行われた『ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権』では、**片岡彩実里さん**が1位に輝き初の出場権を獲得しました。続く2位には**新城百恵さん**が入り、こちらも初の大舞台への出場を決めるなど、出場163名のうち上位通過を果たした4名（**片岡彩実里さん**、**新城百恵さん**、**伊佐美音さん**、**梅津マユミさん**）が本戦への出場切符を手にししました。ベストアマチュア争いにも注目が集まります。



(写真：左から梅津さん、伊佐さん、新城さん、片岡さん)

出場予定選手一覧（108名）

■前年度メルセデス・ランキング上位50位までの者

佐久間 朱莉	神谷 そら	河本 結	菅 楓 華	高橋 彩華
鈴木 愛	荒木 優奈	金澤 志奈	桑木 志帆	岩井 千怜
申 ジ エ (KOR)	ウーチャイエン (TPE)	小祝 さくら	永峰 咲希	木村 彩子
堀 琴 音	仲村 果乃	小林 光希	イミニョン (KOR)	穴 井 詩
佐藤 心結	阿部 未悠	入谷 響	藤田 さいき	柏原 明日架
山城 奈々	渡邊 彩香	安田 祐香	高野 愛姫	永井 花奈
内田 ことこ	ペソンウ (KOR)	岡山 絵里	稲垣 那奈子	青木 瀬令奈
木戸 愛	全 美 貞 (KOR)	脇 元 華	鶴岡 果恋	工藤 遥加
天本 ハルカ	泉田 琴菜	サイバイイン (TPE)	大里 桃子	都 玲 華

■産休制度を適用し、復帰する者

福田 真未 テレサ・ルー (TPE)

■公式競技で優勝した者

三ヶ島 かな

■2020東京オリンピック銀メダリスト

稲見 萌寧

■前年度週番号第46週に開催されるJLPGAツアー競技終了時点のメダリスト・ランキング51位から55位の者

吉 田 鈴 ささきしょうこ 蛭田 みな美 寺岡 沙弥香 後藤 未有

■前年度JLPGAステップ・アップ・ツアー賞金ランキング上位2位までの者

大久保 柚季 皆吉 愛寿香

■QTランキングリスト上位者

倉 林 紅	神谷 桃歌	福 山 恵 梨	政 田 夢 乃	高橋 しずく
川 岸 史 果	加藤 麗奈	奥 山 純 菜	六車 日那乃	常 文 恵
大 出 瑞 月	森井 あやめ	植 竹 希 望	下川 めぐみ	川崎 春花
伊 藤 愛 華	横 峯 さくら	但 馬 友	永 嶋 花 音	藤 本 愛 菜
宮 澤 美 咲	肥 後 莉 音 (AUS)	高 橋 恵	安 田 彩 乃	

■次点補充者

金田 久美子 権 藤 可 恋 尾 関 彩 美 悠 高 久 み な み 沖 せ い ら
吉 川 桃 一ノ瀬 優希 エイミー・コガ (USA) 池ヶ谷 瑠菜 山 路 晶

■主催者推薦選手

新 垣 比 菜 荒 川 怜 郁 岩 井 明 愛 大 城 さ つ き 小 林 夢 果
澁 澤 莉 絵 留 田 辺 ひ かり 原 江 里 菜 比 嘉 真 美 子 宮 田 成 華
吉 崎 マ ー ナ 笠 り つ 子 青 木 香 奈 子 仁 井 優 花 @ 片 岡 彩 実 里
@ 梅 津 マ ユ ミ (USA) @ 伊 佐 美 音 @ 新 城 百 恵

注釈①：(KOR)…韓国、(TPE)…チャイニーズタイペイ、(USA)…アメリカ、(AUS)…オーストラリア

注釈②：@…アマチュア選手

注釈③：太字は沖縄選手

2026年2月18日現在

今年ダイキンオーキッドレディスで達成が期待される記録集 ※2/13 エントリー時点

■生涯獲得賞金●円突破

氏名	突破賞金額	現在賞金額	突破まであと	最低達成条件	達成試合数	
横峯 さくら	1,100,000,000	1,083,873,268	16,126,732	優勝	457試合目	史上7人目
青木 瀬令奈	500,000,000	495,203,363	4,796,637	単独6位以上	395試合目	史上39人目
高橋 彩華	500,000,000	490,753,427	9,246,573	単独2位以上	257試合目	史上39人目
永峰 咲希	400,000,000	396,812,038	3,187,962	単独8位以上	357試合目	史上70人目
河本 結	400,000,000	391,662,221	8,337,779	単独3位以上	203試合目	史上70人目
大里 桃子	300,000,000	294,983,463	5,016,537	単独5位以上	266試合目	史上114人目
新垣 比菜	200,000,000	180,571,576	19,428,424	優勝	237試合目	史上165人目
宮田 成華	100,000,000	92,557,720	7,442,280	単独3位以上	174試合目	史上259人目
小林 光希	100,000,000	92,041,333	7,958,667	単独3位以上	74試合目	史上259人目
仁井 優花	100,000,000	80,108,378	19,891,622	優勝	102試合目	史上259人目

■その他

トーナメントコースレコード：62 (-10) 2003年 具玉姫

トーナメントレコード：3日間大会 202 (-14) 2008年 宋ボベ、2015年 テレサ・ルー

：4日間大会 270 (-18) 2024年 岩井 千怜

■当週誕生日を迎える選手

3/2(月)

3/3(火) 堀 琴音 (30) 神谷 桃歌(20)

3/4(水)

3/5(木) 加藤 麗奈(19)

3/6(金)

3/7(土)

3/8(日)

大会歴代優勝者一覧

	開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア
第1回	1988年	黄 璧洵	±0(216)	-	
第2回	1989年	P.リゾ	-5(211)	-	
第3回	1990年	高須 愛子	-3(213)	-	
第4回	1991年	A.ベンツ	-9(207)	-	
第5回	1992年	P.シーハン	-8(208)	-	
第6回	1993年	城戸 富貴	-8(208)	-	
第7回	1994年	福嶋 晃子	-3(213)	-	
第8回	1995年	M.マクガイヤ	-6(210)	-	
第9回	1996年	リ ウェリウ	-4(212)	-	
第10回	1997年	高 又順	-10(206)	(該当者なし)	
第11回	1998年	金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)	
第12回	1999年	井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)	
第13回	2000年	藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)	
第14回	2001年	不動 裕理	-3(213)	@諸見里しのぶ	+12(228)
第15回	2002年	藤井 かすみ	-8(208)	@諸見里しのぶ	+4(220)
第16回	2003年	不動 裕理	-8(208)	@宮里美香	+2(218)
第17回	2004年	宮里 藍	-10(206)	@諸見里しのぶ	-3(213)
第18回	2005年	藤野 オリエ	+1(217)	@諸見里しのぶ	+8(224)
第19回	2006年	西塚 美希世	-8(208)	@笠りつ子	+1(217)
第20回	2007年	米山 みどり	-6(210)	@宮里美香	+2(218)
第21回	2008年	宋 ポベ	-14(202)	(該当者なし)	
第22回	2009年	三塚 優子	-8(208)	@比嘉真美子	-3(213)
第23回	2010年	アン ソンジュ	-10(206)	@山里愛	+9(225)
第24回	2011年	朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)	
第25回	2012年	斉藤 愛璃	-10(206)	@比嘉真美子	-5(211)
第26回	2013年	森田 理香子	-13(203)	@新垣比菜	-5(211)
第27回	2014年	O.サタヤ	-8(208)	@新垣比菜	+1(217)
第28回	2015年	テレサ・ルー	-14(202)	@新垣比菜	+1(217)
第29回	2016年	テレサ・ルー	-8(280)	@新垣比菜	+8(296)
第30回	2017年	アン ソンジュ	-6(282)	@新垣比菜	+9(297)
第31回	2018年	イ ミニョン	-11(205)	@新城莉李亜	-2(214)
第32回	2019年	比嘉 真美子	-5(283)	(該当者なし)	
第33回	2020年	※新型コロナウイルス感染拡大により大会中止			
第34回	2021年	小祝 さくら	-14(274)	@新城莉李亜	+6(294)
第35回	2022年	西郷 真央	-10(278)		-4(284)
第36回	2023年	申 ジエ	-10(278)	(該当者なし)	
第37回	2024年	岩井 千怜	-18(270)	@吉崎マーナ	±0(288)
第38回	2025年	岩井 千怜	-10(278)	@吉崎マーナ	-2(286)

※第3日は荒天のため中止

大会レコード

- ・大会コースレコード 62 ストローク 具玉姫 【第16回大会(2003年)2日目】
- ・最年少優勝 18歳 262日 宮里藍 【第17回大会(2004年)】
- ・最年少出場 12歳 074日 新垣比菜さん 【第24回大会(2011年)】
- ・最年少予選突破 14歳 079日 新垣比菜さん 【第26回大会(2013年)】

ダイキンオーキッドレディスの歩み（年表）

開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア	大会のトピックス
第1回 1988年	黄 壁洵	±0(216)	-	-	○LPGAツアーの開幕戦として開催 ○賞金総額4,000万円、優勝賞金700万円 (1988年からLPGAツアー制度を施行)
第2回 1989年	P.リゾ	-5(211)	-	-	○賞金総額を4,500万円に増額
第3回 1990年	高須 愛子	-3(213)	-	-	○日本人初のチャンピオンが誕生 ○10月、故・中山泰平氏（元日本興業銀行頭取）の提唱で本土財界と 沖縄財界の協力・交流の場として「沖縄懇話会」が設けられる ○賞金総額を5,000万円に増額
第4回 1991年	A.ベンツ	-9(207)	-	-	
第5回 1992年	P.シーハン	-8(208)	-	-	○賞金総額を6,000万円に増額
第6回 1993年	城戸 富貴	-8(208)	-	-	
第7回 1994年	福嶋 晃子	-3(213)	-	-	○福嶋晃子が涙のツアー初優勝。20歳8カ月6日でのツアー優勝は、 当時日本人女子プロ史上3番目に若い記録 ○オーキッドパウンティの創設
第8回 1995年	M.マクグァイク	-6(210)	-	-	
第9回 1996年	リ- ケソク	-4(212)	-	-	
第10回 1997年	高 又順	-10(206)	(該当者なし)	(該当者なし)	○サブタイトルに「Together with OKINAWA」を掲げる ○第1回ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権大会を開催 ○ボランティアスタッフによる大会運営を開始
第11回 1998年	金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)	(該当者なし)	
第12回 1999年	井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)	(該当者なし)	
第13回 2000年	藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)	(該当者なし)	○宮里藍、諸見里しのぶがプロトーナメントにデビュー ・ダイキンオーキッドレディス（ツアー競技）初出場
第14回 2001年	不動 裕理	-3(213)	@諸見里しのぶ	+12(228)	○諸見里しのぶが予選を通過 ・アマチュアゴルフ選手権から初の予選通過者が誕生 ・当時のLPGAツアー最年少予選通過記録を樹立（当時14歳7カ月）
第15回 2002年	藤井 かすみ	-8(208)	@諸見里しのぶ	+4(220)	○大会ポスターデザインの公募を開始 ○地元玉城中学校の生徒を大会に招待
第16回 2003年	不動 裕理	-8(208)	@宮里美香	+2(218)	○呉玉姫が2Rに2つのツアーレコードを樹立 ・62ストローク/当時18ホールでの最少ストロークを記録 ・11バーディー/18ホールでの最多バーディー数を記録
第17回 2004年	宮里 藍	-10(206)	@諸見里しのぶ	-3(213)	○宮里藍がプロデビュー後、ツアー初優勝 ・沖縄県勢として初のダイキンオーキッドレディスチャンピオンに
第18回 2005年	藤野 オリエ	+1(217)	@諸見里しのぶ	+8(224)	○大会サブタイトルを「Ever Onward with OKINAWA」 (沖縄とともに限りなき前進)に変更 ○賞金総額を8,000万円に増額
第19回 2006年	西塚 美希世	-8(208)	@笠りつ子	+1(217)	○諸見里しのぶがプロとして初出場
第20回 2007年	米山 みどり	-6(210)	@宮里美香	+2(218)	○米LPGAツアーに参戦中の宮里藍が出場、4位に ○大会史上最多となる29,753人のギャラリーが来場
第21回 2008年	宋 ポベ	-14(202)	(該当者なし)	(該当者なし)	○宋ポベがトーナメントレコードを更新する14アンダーで優勝 ○米山みどりが最終日の16番ホールでホールインワンを記録。 ホールインワン賞300万円を獲得
第22回 2009年	三塚 優子	-8(208)	@比嘉真美子	-3(213)	○上原彩子が優勝争いを繰り広げ、本大会自己最高となる2位タイに ○比嘉真美子（12位タイ）、森長真理子（53位タイ）と4大会ぶりにアマチュア が複数選手決勝ラウンドに進出
第23回 2010年	アン ソンジュ	-10(206)	@山里愛	+9(225)	○日本ツアー初参戦のアンソングジュが優勝。同年賞金女王に輝く。 (外国人選手の賞金女王は当時ツアー2人目) ○諸見里しのぶが本大会自己最高となる2位タイに
第24回 2011年	朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)	(該当者なし)	○新垣比菜が大会最年少出場記録を更新（12歳74日、小学6年生）
第25回 2012年	斉藤 愛璃	-10(206)	@比嘉真美子	-5(211)	○斉藤愛璃が三塚優子と李知姫とのプレーオフを制してツアー初優勝 ○比嘉真美子が16位タイに入り、ベストアマを獲得 ○アマチュアの伊波杏莉が2日目の13番でホールインワンを記録。 規定改正後、アマチュアとして初のホールインワン賞、賞金50万円を獲得
第26回 2013年	森田理香子	-13(203)	@新垣比菜	-5(211)	○森田理香子が大会初優勝。同年LPGAツアー賞金女王に輝く ○新垣比菜が28位タイに入り、ベストアマを獲得
第27回 2014年	O.サタヤ	-8(208)	@新垣比菜	+1(217)	○比嘉真美子が2位タイに ○新垣比菜が21位タイに入り、2年連続ベストアマを獲得。諸見里しのぶに 続き、大会史上2人目の記録
第28回 2015年	テレサ・ルー	-14(202)	@新垣比菜	+1(217)	○新垣比菜が33位タイに入り、大会史上初となる3年連続ベストアマを獲得 ○沖縄県勢では単独の4位に川満陽香理、5位タイに宮里美香が入る
第29回 2016年	テレサ・ルー	-8(280)	@新垣比菜	+8(296)	○世界基準となる4日間競技に変更 ○賞金総額を1億2,000万円に増額 ○テレサ・ルーが史上初の大会2連覇を達成 ○新垣比菜が4年連続のベストアマを獲得
第30回 2017年	アン ソンジュ	-6(282)	@新垣比菜	+9(297)	○第30回記念大会として開催 ○宮里藍が6年ぶりに出場 ○新垣比菜が5年連続のベストアマを獲得
第31回 2018年	イミニョン	-11(205)	@新城莉李亜	-2(214)	○第3日は荒天の為、競技中止。54ホールの短縮競技 ○諸見里しのぶが3位タイに入る活躍
第32回 2019年	比嘉真美子	-5(283)	(該当者なし)	(該当者なし)	○比嘉真美子が宮里藍以来、15年ぶりの沖縄県勢優勝 ○新垣比菜が所属プロとして初めて迎えた本大会で2位タイに
第33回 2020年					○新型コロナウイルス感染拡大により大会史上初の中止
第34回 2021年	小祝さくら	-14(274)	@新城莉李亜	+6(294)	○1日あたり原則1,000人での有観客開催 ○4人がホールインワン達成。4日間大会で4度記録し最多記録を更新 ○新垣比菜、川満陽香理が10位タイに入る
第35回 2022年	西郷真央	-10(278)	@荒川怜郁	-4(284)	○1日あたり原則3,000人での有観客開催 ○荒川怜郁が10位タイに入り、ベストアマを獲得
第36回 2023年	申ジエ	-10(278)	(該当者なし)	(該当者なし)	○4年ぶりに観客動員数に上限を設けず有観客開催 ○申ジエが10回目の出場にして、初優勝を飾る
第37回 2024年	岩井千怜	-18(270)	@吉崎マーナ	±0(288)	○この年、ダイキン工業が創業100周年を迎える ○岩井千怜がトーナメントレコードを更新する18アンダーで優勝 ○荒川怜郁が9位タイに入る
第38回 2025年	岩井千怜	-10(278)	@吉崎マーナ	-2(286)	○岩井千怜が史上2人目となる大会2連覇を達成 ○申ジエが2位タイに入り、JLPGAツアー生涯獲得賞金1位となる ○吉崎マーナが2年連続のベストアマを獲得

2026 年 JLPGA ツアー初戦の様を沖縄から TBS 系列で全国に放映

JLPGA ツアー2026 シーズンの開幕戦『第 39 回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』の熱戦の様は、地上波では TBS 系列 28 局を結び沖縄から日本全国へ向け
て放送します。このほか、BS-TBS では第 2 日の金曜日から 3 日間放送いたします。

【放送予定】

■地上波

3月6日	(金)	25:13~26:13	<RBCローカル>
3月7日	(土)	15:00~15:54	<LIVE/TBS・MBS・RBC>
3月8日	(日)	15:30~16:54	<TBS系列全国ネット>

■BS-TBS

3月6日	(金)	18:30~19:30
3月7日	(土)	19:00~20:00
3月8日	(日)	17:30~18:54

◇ラジオ◇

RBCラジオでは、大会期間中、会場から生中継でダイキンオーキッドレディス情報をお伝えします。

熱戦の舞台は琉球ゴルフ倶楽部

今年も大会の舞台は、沖縄本島南部に位置する琉球ゴルフ倶楽部（沖縄県南城市）です。沖縄ならではのガジュマル、ホルトや椰子といった熱帯植物に囲まれた南国ムードあふれ、東、西、南の 27 ホールを擁します。海岸線に近いため風が強く吹く日もあり、自然というハザードも魅力の 1 つです。ダイキンオーキッドレディスでは、1988 年の第 1 回大会から継続して琉球ゴルフ倶楽部にて開催しています。

～ 琉球ゴルフ倶楽部 ～

沖縄県南城市玉城字親慶原 1 番地

開場：昭和 52 年 7 月

設計：梅沢 弘 監修：川波義太郎

第39回ダイキンオーキッドレディス 大会実施要項

大会名称：第39回 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント

主催：ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社

公認：一般社団法人日本女子プロゴルフ協会

後援：沖縄県、那覇市、南城市、沖縄観光コンベンションビューロー、TBS テレビ

企画運営：琉球放送株式会社

運営協力：株式会社博報堂、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ

開催期日：2026年3月2日（月） 指定練習日
3月3日（火） 指定練習日・前夜祭
3月4日（水） プロアマ大会
3月5日（木） 本大会第1日（予選ラウンド）
3月6日（金） 本大会第2日（予選ラウンド）
3月7日（土） 本大会第3日（決勝ラウンド）
3月8日（日） 本大会最終日（決勝ラウンド）

開催場所：琉球ゴルフ倶楽部

〒901-0608 沖縄県南城市玉城字親慶原1番地 TEL：098-948-2460

競技方法：4日間72ホールストロークプレー

36ホール終了し、上位50位タイまでが決勝ラウンドに進出する。最終ラウンド終了時に、第1順位の者が2人以上いた場合は、即日競技委員会が指定するホールにおいて、ホールバイホールによるプレーオフを行い、優勝者を1人決定する。

競技規則：R&AとUSGAが承認したゴルフ規則（2023年1月施行）とJLPGAローカルルールおよび競技の条件、本大会追加ローカルルールを適用する。

出場資格：JLPGAツアー規定による出場有資格者90名
主催者推薦18名（アマチュア含む）

賞金：賞金総額1億2,000万円 優勝賞金2,160万円

特別賞：優勝副賞／ダイキンルームエアコン『うるさらX』
ダイキンルームエアコン『risora』
ダイキン加湿ストリーマ空気清浄機
＜ダイキン工業(株) 提供＞
ヤンマープレジャーボート『トップラン FX24EZ.LTDV』
＜ヤンマー(株) 提供＞

琉球放送賞／沖縄県産和牛
沖縄県知事賞／琉球ガラス特製品
チェコ賞／ボヘミアングラス

TV放映：TBS系列全国ネット、BS-TBS

～ Ever Onward with OKINAWA～ ダイキンオーキッドレディスの地域貢献活動

ダイキンオーキッドレディスでは、1997年の第10回記念大会から「沖縄と共に歩み続けるトーナメントをめざしたい」という願いを込めて、大会スローガンに“Together with OKINAWA”を掲げ、地域と一体となった大会運営を続けてきました。2005年大会からは「沖縄とともに限りなき前進」というめざす姿を表現した新しい大会スローガン“Ever Onward with OKINAWA”に変更し、さらに一歩進んだ活動をめざしています。

●ダイキンオーキッドレディス アマチュアゴルフ選手権大会の開催

アマチュア選手権大会は、第10回記念大会より、地元沖縄県のスポーツ振興を目的に開催され、今回で30回目を迎えました。沖縄県在住または沖縄県出身の女性アマチュアプレーヤーであれば参加することができます。過去30回の大会でのべ5,000人を超える選手が出場しています。

第1回大会を制した新崎弥生が2002年にプロになったのを皮切りに、第3回大会を制した上原彩子、第4回の宮里藍、第5、6、8回と3度の大会を制した諸見里しのぶ、第7回の宮里美香、第18回の新垣比菜、第25回大会の荒川怜郁、第27回大会を制し昨年のJLPGAプロテスト合格を果たした吉崎マーナなど本大会の優勝者が次々とプロゴルファーとなり、これまで21名のプロゴルファーが誕生しています。

●「オーキッドバウンティ」 ～沖縄の文化・スポーツ振興への支援活動～

1995年の第8回大会から「オーキッドバウンティ」の名称で、沖縄県の芸術、文化、スポーツ、教育等の振興を目的として活動している個人・団体の支援を行っております。これまでの支援先は、のべ290件を数え、支援総額は1億9,200万円となっています。今回も前夜祭やプロアマ大会に参加される沖縄と本土の経済人から浄財を募り、両主催者の寄付金と合わせて贈呈する予定です。

●大会ポスターデザインの公募

2002年の第15回大会より実施したポスターデザインの公募は、沖縄の若い世代の芸術・文化振興に貢献する目的から始めたものです。他トーナメントにない独自の取り組みで、今回で25回目を迎えます。今年も県内の園児から高校生の児童・生徒を対象にポスターデザイン募集を行い、716点の応募をいただきました。沖縄をイメージさせるものや、ゴルフを連想させるものなど子どもの斬新かつ大胆な発想で描く力作が集まりました。ポスターは全国の各所に掲示し大会を盛り上げると同時に、子どもたちにもダイキンオーキッドレディスや、ゴルフを知ってもらおうきっかけとなっています。現在も大会ポスターを一般公募しているトーナメントはなく、ダイキンオーキッド独自の取り組みです。

●地元ボランティアスタッフによる大会運営

トーナメント開催コースである琉球ゴルフ倶楽部のある沖縄県南城市（旧：玉城村）を中心とした地元の皆様に、ボランティアスタッフとして大会の運営に参加していただいております。1997年の第10回大会から始まったこの取り組みは、20年以上の長きにわたってご協力いただいている方々もいらっしゃいます。コロナ禍では沖縄県内のボランティアスタッフを中心とした運営となっておりましたが、2019年以前同様に全国からの応募を募り、従来の延べ500人規模での大会運営をめざします。

●「総合学習」の一環として地元中学生をトーナメントに招待

大会では、多くの子供たちにゴルフというスポーツの魅力を通じて様々なことを学び感じてもらうことを目的として、2002年の第15回大会より玉城中学校1年生をトーナメント会場に招待しています。日本女子プロゴルフ協会の小林浩美会長をはじめ、大会スタッフによるレッスン会を兼ねた事前説明会を実施し、当日はコースでプロゴルファーの厳しい勝負の世界にふれるほか、トーナメント運営の現場（大会本部、テレビ中継センター、プレスルーム、速報センター、グリーンキーパー等）を見学していただいております。昨年に引き続き、玉城中学1年生160名ほどが会場での総合学習を実施する予定です。

第39回ダイキンオーキッドレディス 大会ロゴ



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament

下記のドロップボックスに、大会ロゴデータおよびポスタービジュアルデータなどをアップロードしております。

ご活用ください。

■ダイキンオーキッド報道用素材ドロップボックスURL

<https://www.dropbox.com/scl/fo/m6xzi3n880mwdlxnrta3t/AMqT8uVonssGUQ3PSOs7ppo?rlk=udoe4upakxr4yfqj6ju9q828v&dl=0>

<本大会に関するお問い合わせ先>

■読者・視聴者用お問い合わせ先

RBCダイキンオーキッド事務局 TEL. 098-988-5000 担当/護得久・前田

■報道関係者からのお問い合わせ先

ダイキンオーキッドレディス大会広報事務局（株式会社エムシーピーアール内）

TEL.03-6277-8760

担当/鈴木、成願（じょうがん）

携帯：090-7769-4376（鈴木）

090-2447-1069（成願）

E-mail：suzuki@mcpr.co.jp / jogan@mcpr.co.jp